



2020 1/27
発行責任者
学年主任 山田美紀子



2021年がスタート!

~今年はうし年、世の中がよい方に
向かいますように~



長年、人類を苦しめてきた天然痘のワクチンは牛から作られました。日本でも、流行すると治しよ
うのない疫病として恐れられていた天然痘。世界で根絶宣言が出されたのは1980年のことでした。
今年にはコロナのワクチンが普及して、早く安心できる日々が来ることを願っています。

さて、皆さんにとって、この1年はどんな年になるのでしょうかね。去年は、「さあ、今年はいよいよ
中学生だ!」ってドキドキしていた人が多いかもしれません。そして、来年はきっと「今年はまだ3年
生!進路決定の年だぞ!」と気持ちを新たにすることでしょう。

そう考えると、今年はいさ少し中途半端なモチベーションの年なのかもしれません。でも、1日の重みは
どの年も変わりません。だからこそ、2度と戻ってこない「いま」を大切に過ごしましょう。仲間と過
ごす「ここ」という空間を幸せなものしましょう。コロナで苦しい時期が続きますが、「じぶん」の命
も「仲間」の命も大切に、この困難を乗り越えましょう。3学期がスタートしています。気持ちを
新たに、次のようなことを意識してみましょう。

□心の中に「もうひとりの自分」をしっかり育てよう!

思春期を迎えた君たちに今一番必要なのは、「自分の周りにいてくれる仲間」と「自分の心の中にあるもう一人の自分」の存在です。どんな仲間を持つか、どんなもう一人の自分を持つかで、君たちの成長は大きく左右されます。特に、もう一人の自分は自分だけにしかわからないものだから、自分で育てるしかありません。苦しいとき「頑張れよ!」って励ましてくれる、間違っただけを許してしま
いそうになったとき「それでいいのか!」と叱ってくれる『もう一人の自分』を心の中にしっかり育てていきましょう。

□毎日、家庭学習する習慣をつけよう!

2学期末の懇談会の時に話題になったかもしれませんが、テスト前には計画を立て学習できている人でも、毎日一定の時間を机に向かい学習できている人がど
れだけいるでしょう。これからますます学習内容が難しくなっていくことを考えると、毎日の積み重ねが何よりも大切です。2年後に後悔することのないよう
に、自分ができる時間から始めてみましょう。

□2年生に向け学校生活にけじめをつけよう!

1年生の3学期は、2年生の0学期、エピソード0は、案外本編よりも重要な位置づけになることも多いのです。

2学期に学年集会で出合った、各クラスの反省をもとに、よりよいしめくくりの学期にしましょう。3学期は2年生への準備期間として大切な時期です。4月から君たちは「先輩」と言われる立場となるのです。小学校の時とは違い、少し大人になった気分かもしれません。そのような自覚を持ち、自分の言動にけじめをつけていきましょう。

2月行事



2月3日(水) 職員会議 部活なし
2月4日(木) 県内私立入試
2月5日(金) 県内私立入試
2月8日(月) PTAあいさつ運動 県立特推入試
2月9日(火) 県内私立発表
2月10日(水) 部活なし
2月12日(金) PTA新役員選出
2月17日(水) 部活なし
2月18日(木) 3年生学年末テスト
2月19日(金) 3年生学年末テスト
2月24日(水) 部活なし～3/5(金) テスト1週間前

部活動終了 17:15 完全下校 17:30

みなさんは、中学校生活の中で『先輩』という言葉を使うようになっていきます。「輩」とは訓読みで「やから」と読み、「同じ立場の仲間」を意味します。その前に「先」という字がついていますので、学校・部活や職場、人生などにおける自分より年配の人、先に加入した人に対して『先輩』という言葉を使うのです。だから、その言葉の中には、ある意味「尊敬の気持ち」が含まれています。

小学校の時は「先輩になった!」というより「ひとつお兄さん・お姉さんになった!」という感覚だったでしょう。しかし、子どもから大人への階段を登る君たちは、ひとつ学年が上がることに對してしっかりと心身の準備をしておく必要があります。つまり、『ひとつ学年が上である』という値打ちをつくっておかなければならないということです。でなければ、本来含まれるはずの「尊敬の気持ち」を新入生にもってもらえずに、単に「ひとつ学年が上の人」程度にしか扱われません。

『先輩』と呼ばれる立場になるまで、あと2ヶ月しかありません。一度このことについてしっかり考えてみましょう。

教室での始業式の様子↓



↑ 学年から1人、代表で新年の抱負を発表してもらいました。
1年生の代表は、2組の岩瀧さんです。